

◎市長（角光雄君） ただいまの小川議員の御質問にお答えをいたします。

最初に、松任地区の中心市街地の活性化ということであります。

松任市中心市街地活性化基本計画の成果と反省点についてであります。大規模集客施設等の郊外立地や郊外居住の進展など社会環境が大きく変化する中で、空洞化が進行する中心市街地の商業機能の回復を図るため、平成12年に松任市中心市街地活性化基本計画を策定し、中心市街地の活性化に鋭意取り組んできたところであります。中心商店街の現状は依然として大変厳しい状況にあります。

これまで実施してまいりました個店改装などの商店街活性化事業により、現状維持は図られたものの、全国のほとんどの都市同様、十分な成果が得られないことはまことに残念でもあります。

しかし、松任獅子まつりや千代尼通りアートフェスティバルなどのイベントは、地域にある程度定着したところでもあります。現在、松任駅南地区の区画整理事業や千代尼通りの電線類の地中化、街路灯の整備事業などを進めており、早期完成に大きな相乗効果を期待するところであります。

また、商店街の活性化のためには、他市の成功例を参考として、まず商店街の方々がみずから創意工夫し、問題の解決に向けて取り組むことが重要であります。

お隣の富山県の高岡市においては、コロッケということを打ち出しております。そして地域商店街の活性を求めておるわけでもあります。やはり商店街の皆さんがみずからが努力し、知恵を出してみんなが協力し合って、商店街、地域の活性化というものを考えていただきたい。単に行政が指導しても、これまでの調査を全国的にやった大学の先生の本によりますと、どうも長続きしない。行政が指導したものでは長続きしないけれども、商店街の皆さんが知恵を出して協力し合ってやるところにおいては、非常に活性化を見ている。私は、高岡市に行って見てまいりましたし、長浜市も行ってまいりました。それぞれ非常にその地域の商店街が活性している。これはやはり皆さんが、地元の皆さんが、商店街の皆さんが知恵を出して協力し合って、商店街の活性化に向けて努力している。その成果だと私は見てまいったところであります。私は、その点をまず強く期待したいというふうに思います。

次に、白山市の中心市街地の活性化計画の策定についてであります。策定に当たっては、総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画との調和が図られることが条件であり、本年度から策定する白山市都市計画マスタープラン、この松任地区、鶴来地区、美川地区、こうしたものをあわせた中で策定作業を進め、中心市街地の位置や区域の設定については、白山市として総合的に見直すこととし、具体的な支援メニューの活用もあわせて考えてまいりたいというふうに思っております。

また、中心市街地の活性化協議会の設立については、商工会議所、商工会、中心市街地

など関係団体との協議を行いまして、準備会の設置を進めてまいりたいと考えているところでもあります。これにつきましては、近いうちに立ち上げたいというふうに思っております。

次に、コンパクトシティについてであります。近年の人口減少や少子高齢化の進行に伴いまして、社会の崩壊が危惧されてきたため、拡大型の町づくりから持続可能な町づくりへの転換を図ることを目標とした考え方であります。既にこの考え方を取り入れている自治体の施策については、その都市ごとに実情が異なるため、画一的ではなく、それぞれに検討され、実現に向けた手法が取られているところでもあります。

一般的にコンパクトシティ化により期待される効果としては、交通渋滞の緩和、都市の活性化、高齢化社会への適応、自然環境の保全、社会資本コストの縮減などが上げられております。

御指摘のとおり、本市は複数の中心核を有しております。それぞれに特色ある町が形成されております。市といたしましては、今年度都市計画基礎調査において、市内全域を地域別に機能や特色、課題などを調査しており、引き続き都市計画の基本方針となる白山市都市計画マスタープランの策定に着手することとなっております。

この新しく踏み切るマスタープランの委員会には、ぜひとも議員の皆さんの代表も参加いただいて、議員の皆さんにもいろいろと御審議を賜りたい。こんなふうに思っております。

本市の今後のコンパクト化に向けたモデル都市の構築につきましては、持続可能な社会を求めるためにコンパクトシティが有効な考え方であるため、都市計画マスタープラン策定の中で議論してまいりたいと考えておるところでございます。

次に、財政健全化につきましては、企画財政部長より答弁させますが、今ほども小川議員の御質問の中でありましたように、国の方が財政健全化判断基準というものを発表しました。この試算に基づいて白山市の平成18年度の決算を見ますと、実質赤字比率はゼロでもあります。それから連結実質赤字比率は5.1%の黒字ということになっております。それから実質公債費比率は20.6%、将来負担比率は258.6%ということであります。国から財政再生基準や早期健全化基準というものが出ておりますが、これを見ましても、全く我が市は関係はございません。ですから、健全財政を堅持すれば、もう本当に盤石の体制をとっていけるということでありますが、その点は議会の皆さんも御心配なく、ひとつよろしく願いたいと思います。